

WASABI BOON

VOL. 13

18+
FOR ADULTS ONLY



気を付けようね



オナホの置き忘れ



遠征から帰ってくるなり血相を変えて執務室に飛び込んできた浦風。手にはちゃんとしまったはずのオナホが...

提督！

なんなんねこれは！

うちが遠征に行つとる間に
これ使うてオナ：

その...

や、やっと思ったんじゃろ！



「だって会えなくて寂しかったんだもん」とおねだりするとしぶしぶながらも応じてくれる、そんな浦風が大好き。

て、提督も男じゃし？

そ、そういうことなら
しょうがないねえ…

ちよっと待っときんさいや

帰って来たばかりで
汗だくじゃし

汗拭くけえ…



待ちんさいと言われても浦風の下着姿を見て待てる訳がない。五月蠅い口はキスで塞いでしまおう。

待ちんさい
ゆうとるじやろっ

こらっ

あっ...

んむ...

またこうやって
キスで誤魔化してからに...

もうほんまに...

どれが汗でどれがよだれか
わからんぐらいぐちやぐちやに
なっしてしもうたわ...

ぽん

ぽん

汗ばんだ乳房を両手で弄ぶと、しっとりとした肌が手のひらにはりついてくる。これぞ駆逐艦。やらしいぞ浦風。

我慢の限界とばかりに勃起したペニスを見せつける。浦風が遠征に行っている間は独りで慰めていたのだ。そりゃあ溜まるもんも溜まるだろう。

な、なんか
いつもより大きゅうない？

ちよっと
こわいんじゃないけど...

もうほんまに
強引じゃねえ...

うちがおらんけえ
溜まっとったとかゆうて
嘘ばっかり...

こっそりオナホで
抜いとったくせに...

オナホの件をまだ根に持っているようでぶつぶつ文句を
言いながらフェラチオをする浦風。もういいかげん許してちょ。

汗ばんだ浦風の股間に顔をうずめて汗と愛液の入り混じった味を舌で楽しむ提督。
指で刺激を加えながら愛液を掻き出してやると、奥からどんどんねっとりとした液体が溢れ出す。甘露極まりなし。



そんなところ
汚いけえ……

いけんよ……
提督さん

くちゅ
くちゅ
ゆるるるる

もう
だめじゃ……

はよう……
はようして……

フシハノム

パンツをずらして挿入しようとする提督に腰を浮かせて応じる浦風。
ちゃんと脱がせないと怒られると思ったが素直に応じるところを見ると長い遠征で浦風も相当溜まっていたようだ。

ペニスを奥まで突っ込んでやると浦風はなりふりかまわず乱れてしまった。もっと、もっとと腰を突き出して激しいピストンを要求する。



最後はまんぐり返しで龟头を子宮口に押し付けて膣内射精。浦風は「うっ」とも「ぐっ」ともつかぬ声を出してぶるぶると震える。膣内射精と同時に絶頂に達してしまったようだ。次の出撃までたっぷりかわいがってやるからな。

お約束のように浜風も提督のオナホを見つけてしまった。しかし、それが何かはよくわかっていないようだ。

これは…

新開発の砲弾ですか？

?

?

花瓶にしては
少し小さいような…

オ…オナ砲？
オナホと呼称するのですね



用途を説明すると頼んでもないのに服を脱ぎ始める浜風。提督の望みは全て任務だと思っている生真面目な駆逐艦なのだ。



じ、自慰…に
使用…する？

装備…なのですか

では…

おっ..

ほん♡

浜風、
お手伝いさせて頂きます…

オナホを開封し、中が既にローションで満たされていることを確認した浜風は、即座に作戦行動に入る。

下の蓋を開けてここに
提督の...を挿入するのですね

トロオン...

では
失礼致します

おんほ

おんほ
おんほ

豊かな乳房を見せつけながらゆっくりとオナホを動かす浜風。任務と思ってやっていると思いきや、提督の表情をちらちらと見て楽しんでいる様子。ああ、そんなに動かしては...

いかがですか提督？

動かし方はこれで
良いですか？

どうかなさいました？

少し辛そうな顔
してらっしゃいますけど

ぬん

ぬん

ぬん

あっ

すごい...
どんどん出て来ます

ぬん

汗ばんだ乳房を見せつけながらのオナホコキにたまらず射精。本番前、しかもオナホコキでイカされてしまうとは...

許可なく提督をイカせる駆逐艦にはおしおきが必要、これ鎮守府の掟ね。邪魔なストッキングは破ってしまおう。



ダメですよ！
大切な兵装を！

て、提督！

そんなっ

いきなり
突撃されては…

ぽんぽん
ぽんぽん

おもむろに腕を掴み、逃げられなくしてからいきなりペニスを根元まで挿入。前戯なしの割にすんなりと入ってしまった。なんののかんの言っって身体はもう準備万端でないの。スケベな駆逐艦にはやはりおしおきが必要だ。

無理矢理脚を拡げさせ、ストッキングで蒸れた股間に風を通してやる。どうだい涼しくなったろう。恥ずかしい体勢にイヤイヤする浜風を尻目に、愛液を掻き出すような激しいピストンを休みなく続ける提督。だってこれおしおきだもの。



ダメえ

ふん

おま

おま

おま

こんな格好
はずかし...

うん

下半身...
痺れて...

動かな...

おま

休みなくピストンを繰り返すうちに夢中になってつつい膣内射精してしまった。浜風の顔を見ても...
少しやりすぎてしまったようだ。しかたないね。おしおきおしおき。

いやーオナホが浦風と浜風に見つかってしまうとは.. 浦風には怒られるし浜風も無表情だが内心面白くないだろうし。 今後は管理を徹底して厳重に保管しなければ...って磯風————ツ!!!

司令、
素敵な一輪挿しだな

なに?
違う?

だ、男子が、
じじ自慰・行為・に
使用する器具だと?
///

馬鹿者!!

そ、
そういうことは早く言わんか!



本来の用途がわかったとたん、顔を真っ赤にして花を花瓶に戻す磯風。と、おもむろに服を脱ぎ始めた。突然のことにぼかんとすると、なにやら磯風殿自ら提督の性処..もといお相手をしてくださる様子。



…何を見ている。
司令も早く脱げ。

その…
なんだ…

劣情をもよおしたままでは
作戦に差し障るからな。
この磯風が一肌脱いでやろうと
言っているのだ。

磯風は浜風よりもさらに脱ぎっぷりが良く、裸を見せることに対してあまり躊躇がないようだ。提督が磯風の方に目をやると既にブラジャーを脱ぎ捨てており、張りのある乳房があらわになっていた。もう少し恥じらいがあっても良いのだが...

なんだ？
何か不満なのか？

司令、
どこを見ている...
早く脱がんか

磯風の身体は肉感、というよりも日々の厳しい鍛錬によって全体的に引き締まっており、他の三人より下半身が細目。その引き締まった身体にたわわに実ったアンバランスな大きさの乳房がなんともたまらない。

全裸になった提督の股間にいきなり顔を近付ける磯風。何をするのかと思いきや、ペニスの自分の髪留めを結び始めた。これは自分のものだ主張しているのだろうか。

きゅんっ

む、
これが司令の匂いか…
嫌いではないぞ

ふむ、この張り艶、
そして程良い塩気…
秋刀魚を思い出すな…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

じゅっ…

脱ぎっぷりの割に舌使いはたどたどしく、フェラチオの練度はいまいちのようだ。所在なさげに這わせる唇がなんとももどかしい。

しからばと脚を目一杯広げさせ、磯風の全体重をペニスの上に乗せて根元まで一気にねじ込む。どうだ参ったか。



最後はねっとりとした腰使いで膣にペニスの形を覚え込ませる為、寝バックで奥の奥まで挿入し、一番深い所で膣内射精。



奥付

誌名：WASANBON vol.13

サークル：わさんぼん

著者：wa

発行日：2019年4月29日

印刷：(株)グラフィック様

twitter：@washizutan2

pixiv id：genryusui

本書は18歳未満の閲覧、および
画像の無断使用、無断転載を固く禁じる。

WASANBON

VOL. 13